

エクストリーム-D、ベアメタル高速計算環境で 新インスタンス「G4」の提供を開始

最新の CPU を採用した自社開発のハードウェア製品 「AXXE-L One」を利用して構築

エクストリーム-D 株式会社

2021年8月6日

スーパーコンピューティングサービスプロバイダーのエクストリーム-D 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役：柴田直樹、以下、エクストリーム-D）は、本日、当社の HPC/AI System Software as a Service 製品「AXXE-L by XTREME-D（以下、AXXE-L）」向けベアメタル高速計算環境に、最新のハードウェアを採用したインスタンスの提供を開始することを発表します。新インスタンスは、当社にとって第 4 世代のモデルとなることから、「G4」と名付けられました。なお、「G4」は当社が 6 月に発表した初のハードウェア製品「AXXE-L One」を利用したオールインワンソリューションとして構築しています。

新インスタンス「G4」は、1 台あたり最大 128CPU コア、1TB のメインメモリを搭載し、クロックスピードが 2.0GHz で動作する AMD 製の最新 CPU EPYC 7003 シリーズ・プロセッサを搭載した計算サーバーを中心に、大容量高速ファイルシステムとして、データダイレクト・ネットワークス (DDN)社の Lustre ストレージ、Dell Technologies 社製の isilon ストレージを採用し、高速計算向けインターコネクトとして、NVIDIA Mellanox 社製の 100Gbps の InfiniBand で接続しています。また、仮想デスクトップ (VDI) および GPGPU 用途として、一部サーバーに NVIDIA 製 GPU (A100、V100) を搭載しています。本インスタンス「G4」は、AXXE-L をベアメタル高速計算環境との組み合わせで提供している AXXE-L 共有プラン、専有プランのお客様を対象に提供され、AMD 製 CPU を始めとする最新機器を購入することなく、サブスクリプション形式でご利用いただけるようになります。

新インスタンス「G4」は、当社開発のサーバー「AXXE-L One」を採用しており、計算サーバー (AXXE-L One for Compute)、管理サーバー、高速ファイルシステムを採用したストレージなどの各種サーバーと組み合わせたベアメタル高速計算環境として構築しています。AXXE-L One は、お客様に、AXXE-L を利用して HPC/AI などの計算を実行するのに最適なハードウェアを提供するという目的で開発しています。自社運用のベアメタル高速計算環境にも、AXXE-L One を利用して、お客様向けのサービス基盤を構築しています。



EXTREME-D



AXXE-L One オールインワンソリューション (イメージ)

新インスタンス「G4」は、エクストリーム-D がこれまで 3 世代に渡って構築してきたベアメタル高速計算環境同様、エクストリーム-D のデータセンターパートナーである MC デジタル・リアルティ株式会社が運営するデータセンターに構築しています。G4 の提供を機に、両社の連携をこれまで以上に強化していくとともに、エクスポネンシャルな時代における急速な変化への対応や、お客様のビジネスニーズに迅速に対応できるよう「PlatformDIGITAL[®]※」戦略を進めていきます。

今回の G4 の稼働開始にあたって、MC デジタル・リアルティ株式会社 営業本部長 君島太氏は「この度の新インスタンス「G4」の稼働開始を大変うれしく思います。今回で 4 世代目の新インスタンス稼働ということで、弊社のコロケーションビジネスの国内最初の顧客であるエクストリーム-D 様のビジネスが順調に拡大していることを実感しております。昨今のデジタルトランスフォーメーションが進展する社会環境にあって、世界的にますますデータセンター需要が増えることが予想されています。今後もエクストリーム-D 様と連携をより強化し、そうした社会環境にあるお客様を支えるデジタルインフラを安定的に提供して参りたい。」と述べています。

また、エクストリーム-D の代表取締役 CEO 兼 HPC IaaS アーキテクトの柴田直樹は「今回発表した新インスタンス「G4」は、最新の CPU、インターコネクト、ファイルシステムを採用し、自社開発のベアメタル高速計算環境向けハードウェア「AXXE-L One」の最初の構築事例として位置付けたものになっております。これまでのインスタンスと同様に、世界トップクラスのセキュリティと品質



X T R E M E - D

を誇る MC デジタル・リアルティ様のデータセンターにサーバー群を設置し、キャリアニュートラルでビジネスを展開されているデジタル・リアルティ様のエコシステムへのオープンなアクセスを可能とする PlatformDIGITAL[®]との技術連携も深めながら、お客様に高品質な研究開発プラットフォームを提供して参ります。」と述べています。

※ PlatformDIGITAL[®]とは、デジタル・リアルティ様が提唱する、あらゆるビジネスのニーズを満たすためのデジタルインフラ環境プラットフォームのことで、

エクストリーム-D 株式会社について

2015 年設立。HPC クラウドコンピューティングへのアクセスを簡単、高速、効率的、経済的にすることを目標に設立され、本社は東京都品川区に、米国子会社 (XTREME-D AMERICA Inc.) を米国カリフォルニアに置いています。日本発のスーパーコンピューティング関連のスタートアップとして、ハイパフォーマンスコンピューティング (HPC) およびクラウド技術で 20 年近くの経験を持つ主要メンバーで構成されています。物理マシンによるスーパーコンピューター共有サービス AXXE-L by XTREME-D は、誰でも HPC リソースを利用できるようにし、堅牢な UI / UX およびクラウド管理機能により使いやすいカスタマーエクスペリエンスを提供します。詳細については、<https://xtreme-d.net/> をご覧ください。

※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

本件に関する報道関係問い合わせ先

エクストリーム-D : pr@xtreme-d.net